

「衛星データコンテスト」アナウンス

もうすぐ第11回衛星データ利用コンテストがアナウンスされます。本年度は「グーグルアースでみつけたよ」部門を設けます。今回はその資料となるようにグーグルアースの使用法について説明しましょう。

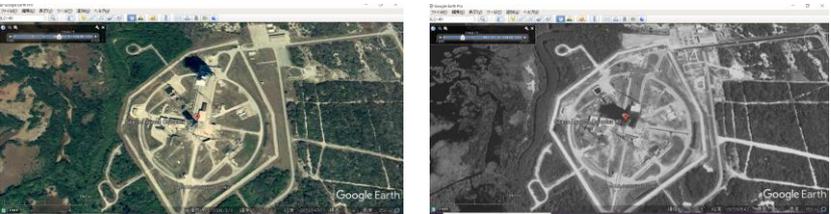
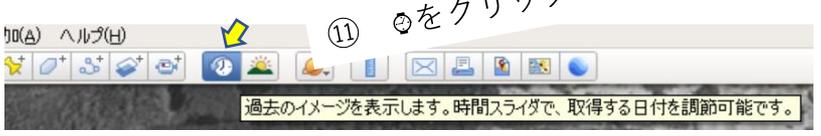
ここでは、過去の画像を表示ができるGoogleEarthプロ（パソコン用）の使用方法を説明します。<https://www.google.com/intl/ja/earth/versions/>

- ①なじみのない場所を探すときは場所名をタイプする
例 「SLC-40」
- 度々登場するケープカナベラル空軍基地第40発射施設です

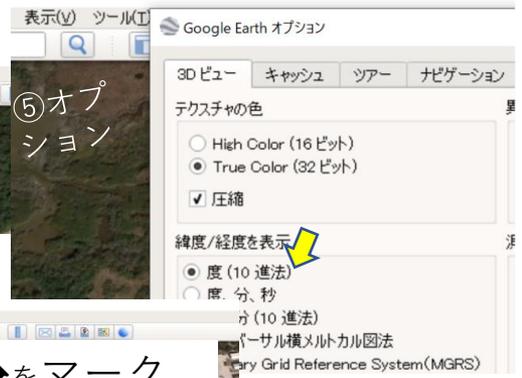


画像取得日 2020/2/3 緯度 28.561923° 経度 -80.577252° 標高 0m

- ⑩ 昔の画像を見ることもできます



- ③ 位置表示を変更する場合



- ⑥ 位置にマークする場合



- ⑧ 距離を知りたいとき



グーグルアースの画像は極めて鮮明です。YACかわら版で紹介している場所を、グーグルアースで詳しく調べてみてください。驚くような発見もあります。このページの画像は2020年2月3日です。1月29日にこの発射台からスターリンク衛星が60機軌道に乗せられました。そうして発射台南のカナベラル港にスペースXの回収船が寄港したところ。画像に関わる背景をどんどん見つけてください。





A

C

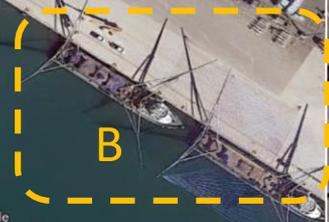
2020年2月3日の画像は、1月29日にSLC-40から打上げたファルコン9の80号機の第1段等の回収を終え帰港したところです。

カナベラル港



OCISLY

© 2021 Google
© 2021 Europa Technologies



B



陸上に移動中の第1段

フェアリング

クレーン

Google Earth

C

*この画像は向きを変えています



Port Canaveral

ポート・カナヴェラル

Google Earth

2隻のフェアリング回収船。片方は着水前、片方は海中から回収した。



SLC-40

Space Launch Complex 40

カナベラル港



出動しなかった着陸船

2隻の支援船。外側の船が出動

A

31 m



B

57 m

Google Earth

SpaceXは、6月30日（19:31 UTC）にTransporter2ミッションを開始し成功させました。 何回も延期されました

88機の衛星（うち3機はスターリンク）を高度約500kmの軌道にのせました。88機もの衛星をそれぞれの計画にあったように軌道にのせるには工夫が必要ですね。



フェアリング回収船
Hos Briarwood



約600kmの海上



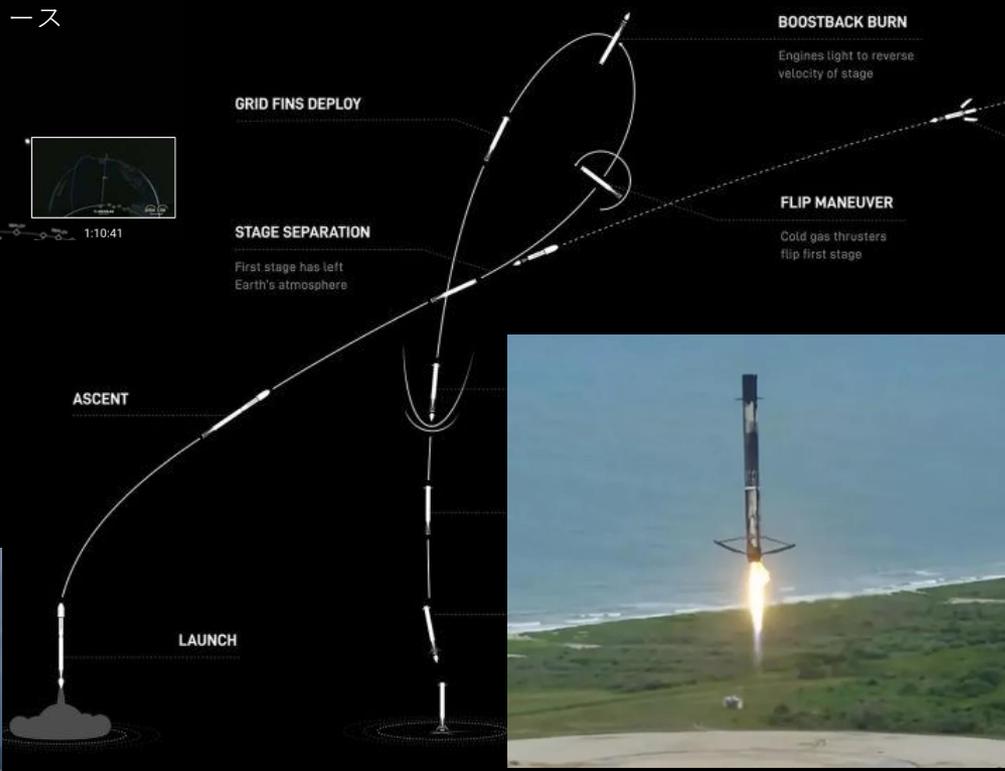
衛星リリース



88機の人工衛星を積んだノーズコーン



ケープカナベラル空軍基地のSLC-40から打上



1段目のブースターは8回目の回収。今回はしかも陸上のLZ-1。

